

ACE 人権通信 12月

人権教育・啓発通信：「エース」
発行：阿南中学校PTA家庭・人権教育部
2025年12月22日（月）
文責：人権教育主事 吉野 有佳

12月に入り、朝晩は寒くなってきましたが、日中はまだまだ暖かい日が多いように感じます。今年もあと2週間を切りました。様々な感染症が増えてくる時期ではありますが、体調管理に気をつけ、冬休みまでの学校生活をがんばりましょう。3年生は、自分の進路を決定する大事な時期となりました。これまでがんばってきた自分や仲間、先生方を信じて、自分の目標に向かってラストスパートです。先月から人権の行事がたくさん開催されています。少し紹介します。



◇人権作文・人権ポスターなど

6・7月に書いた人権作文を各コンクールに出品しました。その結果、本校生徒3名が、全国中学生人権作文コンテスト徳島県大会で奨励賞、阿南市で最優秀賞・特選に選ばれました。その他、富岡公民館や見能林公民館で行われた人権教育研究大会では、本校代表の2名が作文発表をしました。また、「心に虹をかけたまほうの言葉」や人権ポスターもコンクールで賞をいただき、今後、表彰式が行われる予定です。これからも作文やポスターを通して、人権の大切さについてみんなで考えていきたいと思います。



◇ミニ人権コンサート

11月10日（月）に茜ホールで、2年生を対象にミニ人権コンサートが開催されました。徳島県人権教育指導員の西本篤人さんをお招きし、「識字学級発メッセージから～同和問題について～」をテーマに歌を交えながら、識字生が書いた作文を読んだり、自身が識字学級で学んだことなどについて話をしていただいたりしました。生徒に寄りそった話し方で、生徒たちも聞き入っていました。



識字学級に通う人たちはみんな優しく、ニコニコしているという話を聞いて、「差別を受けてきたからこそ、人に優しくできる」という水平社宣言の言葉と一致しているなと思いました。自分の心の奥にある差別してしまう心をなくしたいと思ったし、もっと同和問題について詳しく知りたいと思いました。
(2年 三木 那子さん)

私自身も気付いていないだけで、ささいなところで差別をしていると思います。その小さな差別を自分から見ようと目を向けてなくしていくべきだと思いました。周りが動いたら自分も動き出すのではなく、自分から動き出さないと変わらないと思います。私は常に周りを大切にし、尊重し合うことが差別のなくなる第一歩だと思います。うわさや周りに流されて、決めつけるのではなく、自分でしっかり確かめていきたいです。
(2年 原田 夢菜さん)

資料の中には実際に識字学級で字を学び、文字が書けるようになった方の作文があり、どういう思いで学んだのか、また文字を使う喜びをその文から感じられ、差別が奪ったものはとても大切なものだということがよく分かりました。もういいだろうと言われるほど、今も差別はなくなっていないませんが、それは差別だと気づける人は増えていると思います。次は気づけた人が差別をしないことを呼びかける番です。識字学級生がみんなにこの出来事を伝えてよかったと思えるような差別がなくなる未来へ一歩ずつ近づけていきたいです。
(2年 須賀 芽衣さん)

◇阿南市中学校区人権教育研究発表会

11月21日（金）に阿南市内の中学校教職員が本校に集まり、人権教育研究発表会が行われました。1年生は「障がい者」、2年生は「識字学級」、3年生は「結婚差別」をテーマにした授業が8クラスで行われ、たくさんの先生方に参観していただきました。これからよりよい学級にしていくために自分ができること、差別と出会ったとき自分はどういう行動をするのかについて考え、意見を共有することができました。各クラスの授業を見ましたが、生徒のみなさんはもちろん、担任の先生方もとてもよい表情でした。



クラスの人たちを大切に生活していきたいです。みんなを大切にするによって、みんなを信頼することができて、何があっても助け合えると思ったからです。そして、自分のことも大切に生活することが、過ごしやすい学級になると思います。
(1年 馬着 結菜さん)

差別はまだ世界から消えていないから、まず自分の身のまわりから差別やいじめをなくして少しずつでも世界の人が自由に生きていけるように自分から行動したいです。
(2年 尾崎 玲乃さん)

一生懸命に学ぼうとしている姿を知って、自分の生活では新しい一つ一つの学びを大事にしたいです。
(2年 町口 あねらさん)

差別をなくすために必要なことは、自分が差別をしないことだと思う。みんなが自分から差別をなくしていけば、差別をする人はいなくなる。大切にしたいことは、他人を変えるのではなく、自分から変わっていくことだと思った。差別に対する知識をもっと深めていきたい。
(3年 土居 阿蓮さん)